

2025年度 学校評価公表シート

安田幼稚園安東園舎

1. 園の教育目標

人間形成の基盤が培われる大切な幼児期に、一人の人間として自立して生きられるよう、大切なことはきちんと教えたい。学園創設以来、守られてきた学園訓「柔しく 剛く」の建学の精神のもと、「やさしい心 たくましい力」をもった子どもの育成に努めることを教育方針とし、次のような子ども像を教育目標として掲げている。

○自分のことが自分でできる子ども

○友達と仲良くできる子ども

○元気でやる気のある子ども

教育の柱として以下の3つの項目をあげる。

1. 自分が好き（挨拶や片付けなど基本的な生活習慣の定着と、聞く・話す・考える・表現するなど自信をもって行動していく力を育む）
2. 友達が好き（友達のよさに気づき、協同・協調する力を伸ばし、集団の中で約束を守る態度を育む）
3. 自然が好き（頭と身体を存分に使って遊び、丈夫な身体と強い心、自然の恵みに感謝する心、感動する心を育む）

2. 園の教育目標 重点目標とその設定理由

重点目標を

「意欲的に環境に関わり、頭と体を存分に使って遊ぶ子どもの育成」

～環境に主体的に関わるための保育の充実を考える～

とした。子どもたちが園にある環境に主体的に取り組むためには教師がどう関わっていくか、また、園にある環境をどのようにいかしていくかを考えていきたいという思いで設定した。

3. 今年度の取り組み

本園の3つの教育の柱の重点項目から、3学年を通して経験の積み重ねが目指す子どもの姿へつながることを意識して1項目ずつねらいを定めた。

「自分が好き」…見たり、聞いたりしてよく考え、思いを伝えようとする

「友達が好き」…言葉や行動で思いを伝えあいながら共に生活する喜びを感じる

「自然が好き」…四季を感じ、美しいものを見て驚きや感動する心をもつ

上記のねらいから、各学年の発達段階に合わせて目指す子ども像を決めて取り組んだ。

○目指す子ども像・具体的方策

「自分が好き」

年少組…○自分の気持ちを言葉で表現する

- ・子どもの言葉をしっかり聞いたり、気持ちを表すのにふさわしい言葉を補ったりする

年中組…○自分の思いをいろいろな人に話す

- ・体験したことや思ったことを自分なりの言葉で伝える姿を受け止めたり機会を作ったりする

年長組…○自分の思いを相手に伝わるように話す

- ・自分の思いが相手に分かるような伝え方について考える機会を作る

「友達が好き」

年少組…○友達との関わりに必要な言葉を知る

- ・友達との関わりに必要な言葉を知らせたり、相手の思いを伝えたりする

年中組…○友達との関わりにふさわしい言葉や関わり方を知る

- ・遊びの中や設定活動で友達との関わりにふさわしい言葉や関わり方について話したり、考えたりする機会を作る

年長組…○友達の思いを受け止め、友達への関わり方を考えて関わる

- ・クラスの活動やグループ活動で関わりにふさわしい言葉や関わり方について考える機会を作る

「自然が好き」

年少組…○身近な自然に触れ、季節の変化を感じる

- ・季節の花や野菜などの名前を教えたり、自然現象などに気付けるように機会を捉え話題にあげたりする

年中組…○身近な自然に触れ、季節の変化を感じる

- ・季節の花や野菜などの名前を教えたり、触れたりできるようにする

年長組…○身近な自然に触れ、季節の変化を感じる

- ・身近な自然物について調べたり、観察したり、遊びに取り入れたり、クラスで共通の話題にしたりできるようにする

4. 2025年度保護者アンケート結果（全体）

206件／ 212人 回収率97%

（年少 72件・年中 67件・年長 67件）

幼稚園の指導に関する質問事項		保護者の評価			
		4…あてはまる	3…ややあてはまる	2…あまりあてはまらない	1…全くあてはまらない
1	（年少）自分の気持ちを言葉で表現するための指導が行われている	63件	9件	0件	0件
	（年中）自分の思いをいろいろな人に話すための指導が行われている	55件	10件	2件	0件
	（年長）自分の思いを相手に伝わるように話すための指導が行われている	61件	5件	1件	0件
2	（年少）友達との関わりに必要な言葉を知るための指導が行われている	67件	5件	0件	0件
	（年中）友達との関わりにふさわしい言葉や関わり方を知るための指導が行われている	57件	9件	1件	0件
	（年長）友達の思いを受け止め、友達への関わり方を考えて関わるための指導が行われている	62件	4件	1件	0件
3	（年少）身近な自然に触れ季節の変化を感じるための指導が行われている	72件	0件	0件	0件
	（年中）身近な自然に触れ、季節の変化を感じるための指導が行われている	66件	1件	0件	0件
	（年長）身近な自然に触れ、季節の変化を感じるための指導が行われている	65件	2件	0件	0件
幼稚園の取り組みに関する質問事項					
4	教員は一人一人の発達を理解し、それにあつた対応をしている	少：67件	少：5件	少：0件	少：0件
		中：54件	中：11件	中：2件	中：0件
		長：63件	長：4件	長：0件	長：0件
5	教職員は、保護者の話を丁寧に聞いたり、相談にのったりする等の対応をしている	少：68件	少：4件	少：0件	少：0件
		中：57件	中：10件	中：0件	中：0件
		長：64件	長：3件	長：0件	長：0件
6	あのねメールは子どもとの会話に繋がる取り組みになったと思う	少：63件	少：7件	少：2件	少：0件
		中：60件	中：6件	中：0件	中：1件
		長：64件	長：3件	長：0件	長：0件

※保護者アンケートを基に、1年間の幼稚園の取り組み（具体的な手立て・環境構成や教員の援助など）による子どもたちの育ちについて評価した「自園評価」も合わせて公表しています。結果は以下の通り。

5. 学校評価 結果

評価の仕方…保護者の評価：保護者アンケートの評価（4から1まで）を平均にしたもの

自園評価：各クラス・学年で成果が見られた子どもの割合を示し、以下で照らし合わせ表記した

※80%以上…4、60%～79%…3、40%～59%…2、40%未満…1

幼稚園の指導に関する評価項目		保護者の評価			自園評価	
		学年	全学年	学年	全学年	
1	(年少) 自分の気持ちを言葉で表現するための指導が行われている	少	3.8	3.9	4	4
	(年中) 自分の思いをいろいろな人に話すための指導が行われている	中	3.8		4	
	(年長) 自分の思いを相手に伝えるように話すための指導が行われている	長	3.9		4	
2	(年少) 友達との関わりに必要な言葉を知るための指導が行われている	少	3.9	3.9	4	4
	(年中) 友達との関わりにふさわしい言葉や関わり方を知るための指導が行われている	中	3.8		4	
	(年長) 友達の思いを受け止め、友達への関わり方を考えて関わるための指導が行われている	長	3.9		4	
3	(年少) 身近な自然に触れ、季節の変化を感じるための指導が行われている	少	4.0	3.9	3	3
	(年中) 身近な自然に触れ、季節の変化を感じるための指導が行われている	中	4.0		3	
	(年長) 身近な自然に触れ、季節の変化を感じるための指導が行われている	長	3.9		3	

幼稚園の取り組みに関する質問事項		保護者の評価			自園評価	
		学年	全学年	学年	全学年	
4	教員は一人一人の発達を理解し、それにあった対応をしている	少	3.9	3.9	4	4
		中	3.8		4	
		長	3.9		4	
5	教職員は、保護者の話を丁寧に聞いたり、相談にのったりする等の対応をしている	少	3.9	3.9	4	3.3
		中	3.9		3	
		長	3.9		3	
6	あのねメールは子どもとの会話に繋がる取り組みになったと思う	少	3.8	3.9	4	3.7
		中	3.9		3	
		長	3.9		4	
					園の評価	
保護者への対応・園での教育について	園全体で子どもたち一人一人の把握に努める	○教員間で子ども理解を深めるようミーティングをする			4	

6. 考察と今後の課題

○自分が好き

一人一人との信頼関係を築き、自分の気持ちや思いを言葉で表現することを大切に取り組んできた。

年少組では、安心して気持ちを出せる雰囲気づくりを大切にしてきた。また、子どもたちが自分の気持ちを伝えようとしている姿を逃さずキャッチし、耳を傾け、必要に応じて言葉を補ってきた。徐々に自分の気持ちを言葉で表現しようとする姿が見られるようになった。

年中組では、みんながいる場で話す機会を設けたり、自分の考えや思いを出せることを大切にしたりした。仲の良い友達だけでなく園で関わる友達や教師など、いろいろな人に少しずつ自分の伝えたいことを話そうとする姿が見られるようになった。

年長組では、自分の思いが相手に伝わるような話し方や言葉について考える機会を設けた。相手を意識した伝え方や双方向の会話をする姿が育ってきている。

保護者からは、おおむね肯定的な評価をいただいております。園での子どもの様子を伝えてきたことがつながったと考えています。今後も子どもの思いを丁寧に受け止めながら、安心して自分の思いを表現できるようにしていきたい。

○友達が好き

まずは、園生活や新しいクラスに慣れることや、やりたい遊びを見つけ楽しむことを大切にしました。

年少組では、教師も一緒に遊ぶ中で関わりに必要な言葉を伝えたり、クラスの集いで絵本を活用したり考えられるような機会を作ったりした。友達との関わりに言葉が必要であることが分かり、関わりが深まっている。

年中組では、友達との関わりの中で相手に伝わる言葉や、ふさわしい言葉・関わり方について、クラスの活動や絵本を通して一緒に考えた。相手が嬉しい気持ちになる関わりが見られた時はクラスの活動や集いで知らせたり認めたりし、良い関わりが広がっていくようにした。自分がされて嬉しかったことを友達に返そうとする姿が見られるようになった。

年長組では、いろいろなグループ活動の中で、相談したり自分の意見を伝えたりする機会を作った。自分の思いを伝えるだけでは話し合いや活動が進まないことに気づき、友達の思いを知り、折り合いをつける経験を重ねた。友達と協力をして活動したり、意見を出し合ったりすることで活動がより楽しくなる姿が見られた。

保護者からは、おおむね肯定的な評価をいただいた。保護者にとって分かりにくい項目であるため、クラスだよりやホームページなどでの発信で、園での様子が伝えられるよう努力していきたい。一人一人が思いを出しながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように、今後も個々への援助をしていきたい。

○自然が好き

園全体の取り組みとして、身近な草花や実で遊んだり図鑑で調べたりできる「自然コーナー」を新たに用意した。また、各保育室での生き物の観察や飼育もこれまで以上に意識して取り組んだ。さらに、園庭や探索道、大学構内を散歩する機会も季節ごとに取り入れ、畑や園庭での栽培・収穫体験をすることなどを通し「季節の変化」を感じられるようにした。

年少組では、「おさんぽカード」の活用、写真やイラストなど掲示して知らせる活動を行った。季節が移り変わっていることに気付いたり、身近な自然現象に興味をもったりする姿が見られるようになった。

年中組では、「わくわくカード」を使って活動したり、クラスで自然と関わって遊ぶ機会をつくったりし、みんなが自然に触れる経験をできるようにした。自然物を使った遊びに自分から参加したり、自分の周りの自然・季節の様子が変化していることを感じて知らせようとしたりする姿が見られるようになった。

年長組では、「調べる」「使う」「遊ぶ」など自然との関わりを深めていけるよう意識した取り組みを行った。生き物の飼育や草花を使った遊びを通して関心が深まり、「不思議」「おもしろい」と感じたことを友達と伝え合ったりクラスで共有したりする姿などが見られるようになった。

保護者からは、おおむね肯定的な評価をいただいた。今後も身近な自然に興味関心をもてるような取り組みを継続していきたい。

○幼稚園の取り組みに関することについて

子どもの園生活を豊かにしていく取り組みを進めるとともに、参観日や大きな行事など保護者の方が園生活の様子を知ることができる機会を大切にしてきた。今年度より、家庭での会話のきっかけとなることを目的として「あのねメール」を取り入れ、学年ごとにその日の活動を知らせる取り組みを行った。アンケートの結果からも肯定的な評価をいただき、多くの家庭で話題のきっかけとなっていることが伺えた。今後も、保護者と共に子どもの成長を支えてく保育を大切にしたい。

今年度も保護者のご理解のもと保育を行うことができた。アンケートには多くの温かい言葉と共に貴重な意見をいただいた。これらの声を教員間で共有し、これからも本園の教育を真摯に進めていきたい。